

# Ⅲ 現状・課題と取組の方向

基本方針 1

## 1. 街並み形成

### 北海道・札幌の玄関口にふさわしい、魅力的で一体感のある空間の形成

現状・課題

・北海道の玄関口としてにぎわい空間や滞留空間を充実させる必要がある



南口駅前広場

・札幌の開拓の象徴である創成川に面した東西市街地の一体的な街並みやにぎわいの創出が求められる



創成川通

・積雪寒冷都市の気候特性を踏まえた快適な都市空間の充実を図る必要がある



札幌駅前通地下歩行空間  
(チ・カ・ホ)

取組の方向

#### 1) 道都の玄関口にふさわしい風格とにぎわいのある顔づくりを進める

- ① 新幹線駅施設と周辺開発の連携によるまちづくり
- ② パブリックライフを実現する南口駅前広場の再整備
- ③ 地下と地上を結ぶ結節空間の充実
- ④ 南口駅前広場と創成東地区との結びつきを高めるオープンスペースの形成
- ⑤ 駅とまちが一体的に感じられる景観の形成

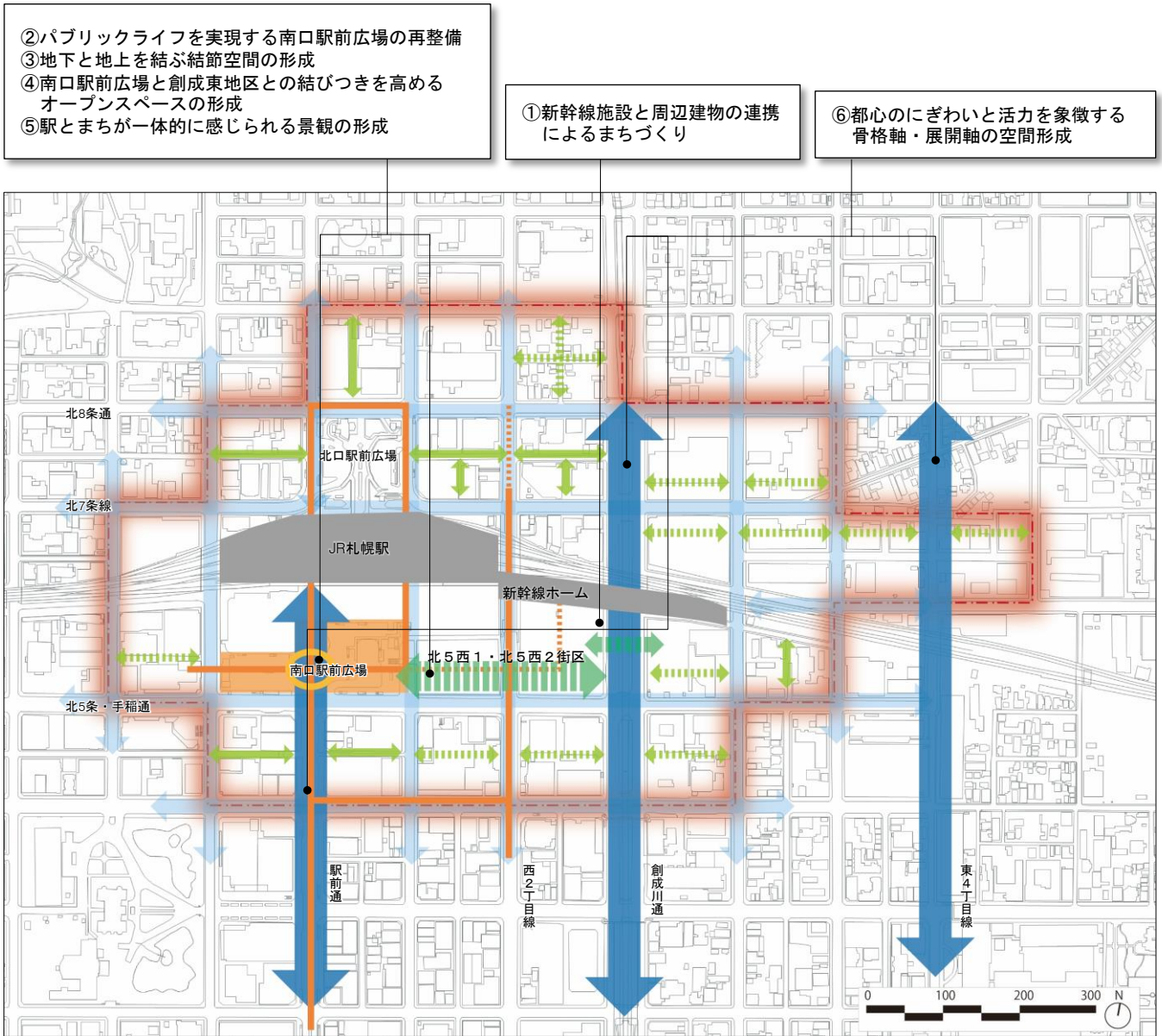
#### 2) 歩行者中心の回遊性の高い空間を形成する

- ⑥ 都心のにぎわいと活力を象徴する骨格軸・展開軸の空間形成
- ⑦ 回遊性を高める歩行者空間・辻広場の形成
- ⑧ 界わい性を感じられる多様な通り抜け空間の形成

#### 3) 北海道・札幌の気候特性に対応した空間を形成する

- ⑨ 1年を通じて快適な屋内公共空間の形成
- ⑩ 質の高い地下歩行者ネットワークの形成

【対象区域における取組の方向の全体イメージ】



【凡例】

- 南口駅前広場
- 地上と地下の結節空間 (既存)
- 南口駅前広場から創成東地区へ繋がるオープンスペース (イメージ)
- 骨格軸・展開軸
- 回遊道路
- 街区内通路 (既存)
- 街区内通路 (イメージ)
- 地下ネットワーク (既存)
- 地下ネットワーク (イメージ)

- ⑦回遊を高める歩行者空間・辻広場の形成
- ⑧界わい性を感じられる多様な通抜け空間の形成
- ⑨1年を通じて快適な屋内公共空間の形成
- ⑩地下歩行ネットワークの充実

## 取組の方向1) 道都の玄関口にふさわしい風格とにぎわいのある顔づくりを進める

北海道新幹線札幌開業という一大プロジェクトを見据え、道都札幌の玄関口にふさわしい風格とにぎわいのある顔づくりを進めます。

### ① 新幹線駅施設と周辺開発の連携によるまちづくり

- ▶ 北5西1街区において、新幹線駅施設と連携し、道都札幌の新しい顔づくりを進めます。
- ▶ 新幹線駅施設と周辺開発が相互に連携したまちづくりを進めます。

### ② パブリックライフ(\*)を実現する南口駅前広場の再整備

- ▶ 駅前利用者の滞留空間の確保や、市民や来街者の交流を促進するイベント等の開催が可能な、まとまった広場空間を確保します。
- ▶ 広場空間を中心とする街区全体で、ゆとりある空間と札幌駅前にふさわしい景観形成を図ります。

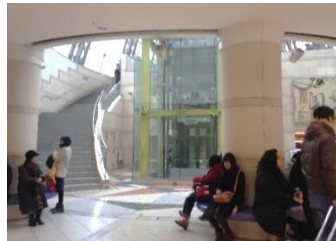
※パブリックライフ：働く、学ぶ、遊ぶ、住むといった基本的な都市の生活を支える交流・社会活動。言葉を交わす直接のやり取りだけでなく、人と人、人と都市空間とのコミュニケーション活動。



南口駅前広場の滞留空間

### ③ 地下と地上を結ぶ結節空間の充実

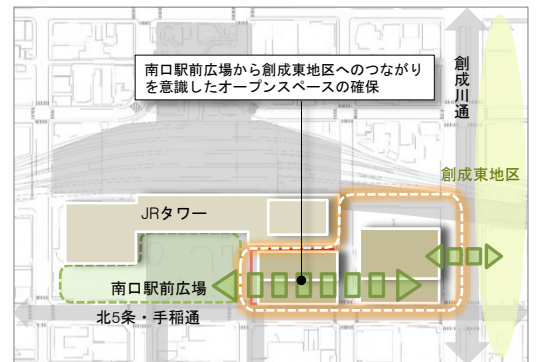
- ▶ 複数層にまたがる地下鉄駅等の交通施設を円滑につなぎ、回遊性を高める結節空間を確保することで、縦動線と一体となった広場空間を充実させます。



バリアフリー動線を備え地上とつながる空間のイメージ  
(左：札幌駅地下街 (APIA)、右：JRゲートタワー名古屋の地下通路)

### ④ 南口駅前広場と創成東地区との結びつきを高めるオープンスペースの形成

- ▶ 南口駅前広場と創成東地区の間の人の流れを促すオープンスペースを形成します。



南口駅前広場からの連続した空間確保のイメージ

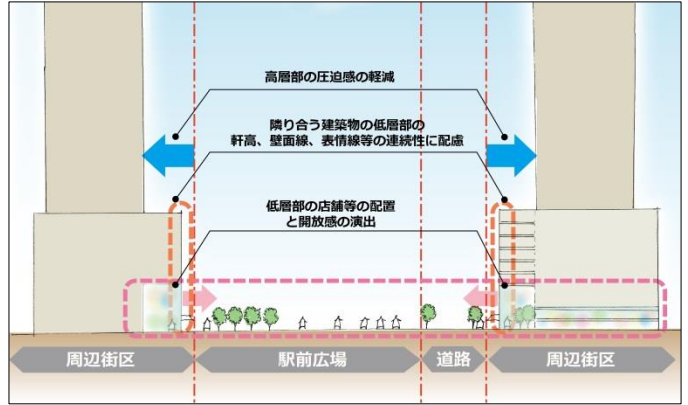
### ⑤ 駅とまちが一体的に感じられる景観の形成

▶ 駅前広場の周辺建物については、壁面のデザインや素材を駅前広場との調和に配慮するとともに、基壇部を設けることで圧迫感を軽減します。

▶ 建物低層部の軒高、壁面線や表情線（※）などは、隣り合う建物との連続性に配慮します。

※表情線：建物のデザイン線・デザインの切り返し線など。

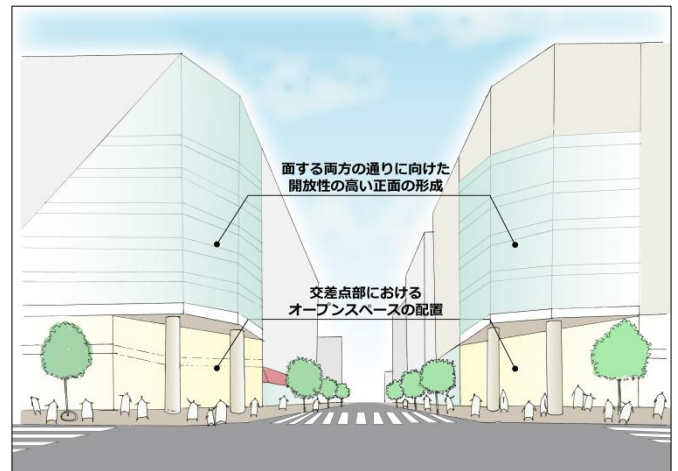
▶ 広場に面する低層部については、ショーウィンドウ・カフェテラス・レストラン等を配置し、人々の活動やにぎわいの様子が感じられる空間形成を図ります。



駅前広場周辺の空間形成イメージ

▶ 主要な街区の辻空間（※）においては、札幌の顔としてデザイン性が高く、開放性の高い設えとします。

※辻空間：街区の角（辻）に置かれる広場空間。



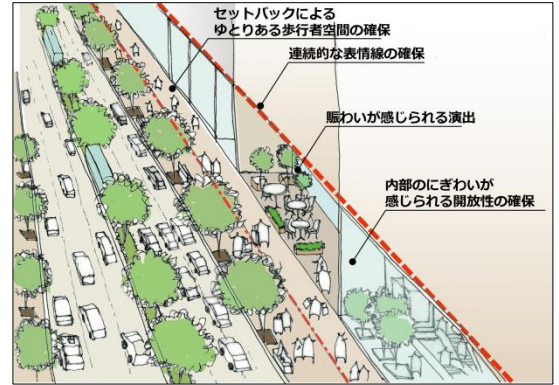
通りに向けた開放性の高い正面のイメージ

## 取組の方向2) 歩行者中心の回遊性の高い空間を形成する

駅とまちをつなぎ、回遊性を高めることで交流拠点全体でさらににぎわいを生み出すため、歩行者中心の空間形成を進めます。

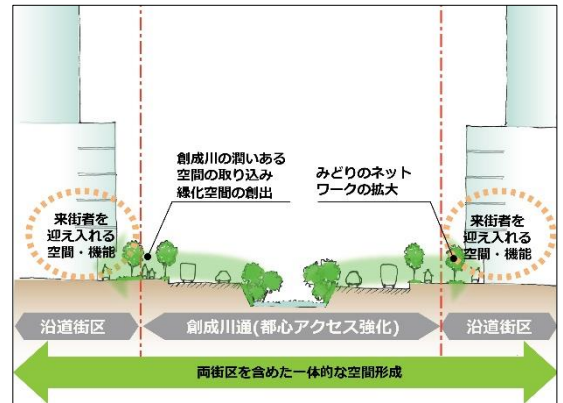
### ⑥ 都心のにぎわいと活力を象徴する骨格軸・展開軸の空間形成

- ▶ 駅前通（にぎわいの軸）は、札幌駅から大通方面へ人々を誘うため、低層部に店舗を配置するほか開放感を演出することでゆとりある歩行者空間を創出し、軸性を意識したにぎわいが感じられる街並みを形成します。



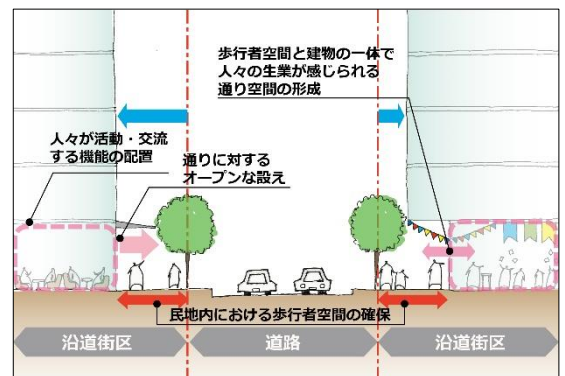
札幌駅前通の空間形成のイメージ

- ▶ 創成川通（つながりの軸）は、川を挟んで一体的にみどりが感じられる空間を形成します。



創成川通沿道の空間形成のイメージ

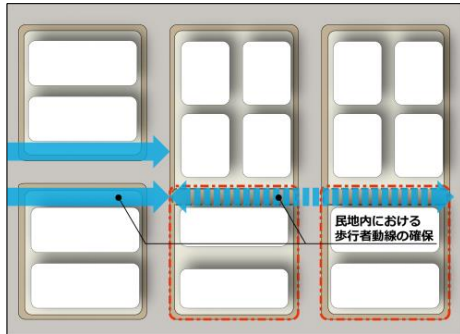
- ▶ 東4丁目線（いとなみの軸）では、民間開発との連携により、にぎわいとゆとりある歩行者空間を創出します。



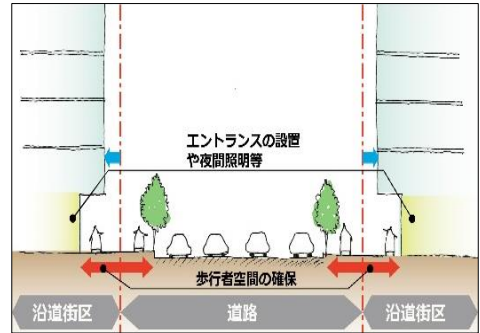
東四丁目線の空間形成のイメージ

## ⑦ 回遊性を高める歩行者空間・辻広場の形成

- ▶ 建物の建替動向を踏まえ、ゆとりのある歩行者空間を確保するとともに、オープンスペースのネットワーク化を図り、明るく安全な歩行者環境を形成することで回遊性を高めます。



民地内における歩行者動線確保のイメージ



安全かつ快適な歩行者空間のイメージ

- ▶ 主要な通りの結節点等では辻広場（※）を設けて、うるおい、みどり、水等が感じられる滞留空間を確保します。

※辻広場：十字路やT字路（辻）に置かれる広場空間。



歩行者回遊を支える辻広場のイメージ  
（日本橋YUITO）

## ⑧ 界わい性が感じられる多様な通り抜け空間の形成

- ▶ 仲通りに面する建物は内部の雰囲気を出させるなど、界わい性（※）を感じられる空間を形成します。  
※界わい性：商店街のにぎわいや活気といった、生活感あふれる雰囲気を感じさせる個性的な街並み。
- ▶ 地区の特性に応じて、街区内に貫通路や歩行者専用通路などを確保することで、回遊性を高める通り抜け空間を形成します。



界わい性のある街並みの形成や道路舗装等により歩行者中心の歩行者空間が創出された仲通り（道路）空間（日本橋室町地区仲通り）



街区内の半屋外貫通路のイメージ  
（京橋エドグラン）



建物の雰囲気が表出した屋内貫通路（アトリウム空間）のイメージ  
（ベルリン Potsdamer platz Arkaden）

### 取組の方向3) 北海道・札幌の気候特性に対応した空間を形成する

積雪寒冷地の気候特性に対応した地下空間や屋内空間などの空間の充実を図ります。

#### ⑨ 1年を通じて快適な屋内公共空間の形成

- ▶ 1年を通じて多様な活用ができ、市民が快適に憩うことのできる屋内広場空間を形成します。



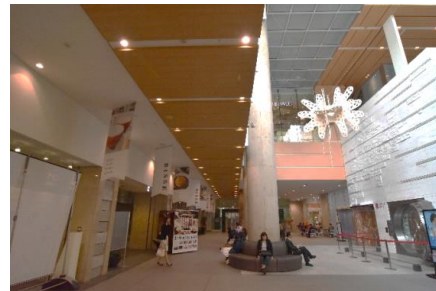
屋内広場空間のイメージ  
(丸ビル)

#### ⑩ 質の高い地下歩行者ネットワークの形成

- ▶ 周辺の再開発等との連携を図りながら、地下歩行ネットワークを形成して交流拠点全体で地下歩行ネットワークの充実を図ります。
- ▶ 地下空間の整備にあたっては、札幌の玄関口にふさわしい空間が形成されるよう、設えに配慮します。

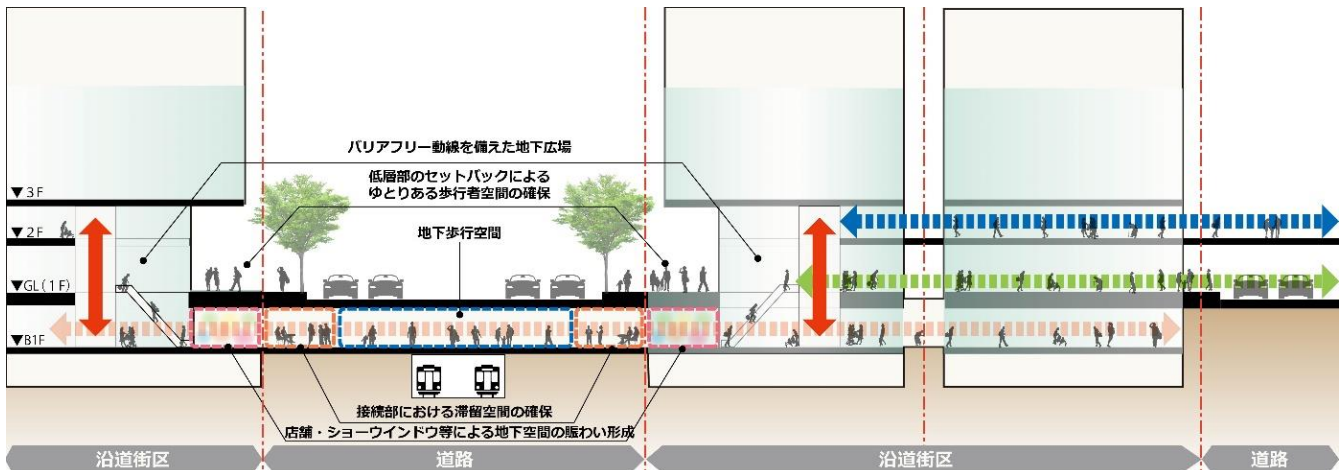


接続部における滞留空間のイメージ  
(札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ))



地上の様子が感じられる明るい地下広場のイメージ  
(大通ピッセ)

- ▶ 建物間で相互に協調しながら、まち全体で重層的な歩行者ネットワークを形成します。



地下歩行空間沿道のにぎわい形成のイメージ